

メタバースの今後の見通しと運用方針

グローバル仮想世界株式戦略ファンド

愛称：フューチャーメタバース

追加型投信/内外/株式

- 当ファンドの基準価額は、5月9日、10日の2営業日で **▲10.3%の急落**となりました（5月6日の基準価額 9,154円、10日の基準価額 8,215円、差 ▲939円（▲10.3%））。
- この状況を踏まえまして、本レポートでは、当ファンドの**基準価額急落の背景**をご報告するとともに、主要な投資先ファンドである「グローバルメタバースファンド（円建て、ヘッジなしクラス）」のポートフォリオ・マネージャーの、**今後の見通しと運用方針**についてご紹介致します。

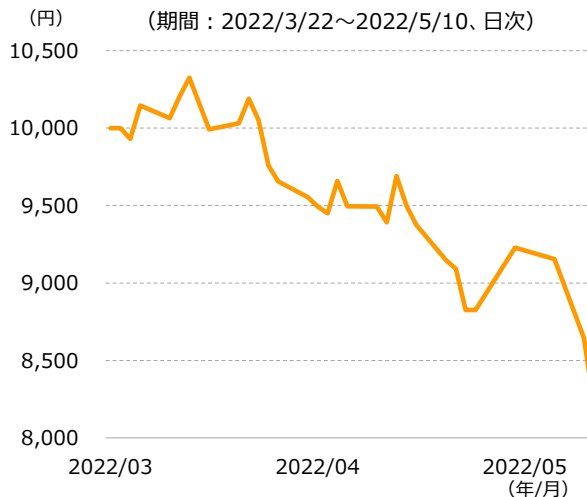
基準価額下落の背景について

当ファンドの基準価額は5月9日、10日の2営業日で10%超の下落となりました。両日の基準価額は、5/3～5/9の国内外のマーケットの動きが反映されています。下落の主な背景は**以下の2点**と考えられます。

- ① **米金融当局が積極的な金融引き締めの継続を示唆**
- ② **中国のゼロコロナ政策の負の影響（世界景気の悪化懸念）**

インフレを警戒する米金融当局は**政策金利を6月以降も引き上げる**とともに、コロナ禍時に市中へ放出したマネーを回収する**量的引き締めを進める方針**を示したことから、投資家心理が急速に冷え込み、株価急落に繋がりました。また、ゼロコロナ政策を進める中国では、**上海等で都市封鎖（ロックダウン）**を施行中ですが、厳格な行動規制で物流が混乱し、**内需の落ち込みが鮮明**となっています。この影響により世界景気が悪化するとの観測が、株価下落に拍車をかけました。

〔図表1. 設定来の基準価額の推移〕
(期間：2022/3/22～2022/5/10、日次)



当面のグローバル株式市場の見通し

4月以降、グローバル株式市場の変動性が高まる状況が続いており、特にFOMC（米連邦公開市場委員会）で、1度で22年ぶりとなる0.50%の利上げが決定された5月4日以降、下げ足が速まる展開となっています。

投資チームでは、**FRB（米連邦準備制度理事会）による政策エラー（過度な金融引き締めによる景気後退）に対する懸念**が、足下の株価下落の背景であると考えています。

FOMC後の記者会見において、パウエルFRB議長は6月と7月も0.50%の大幅利上げを実施する可能性を示唆しました。ロシア・ウクライナ情勢や中国のロックダウン（都市封鎖）等の影響により世界経済の不透明感が高まる中、積極的な利上げ姿勢が示されたことで、インフレ退治を優先し景気後退を招くとの懸念が強まったものと考えます。このため、5月5日以降の株式市場では**一般消費財・サービスや不動産、素材といった景気敏感セクターの下落率が大きく、また期待インフレ率（物価連動債から逆算した市場のインフレ期待）も大きく低下**しています（図表2,3）。これまでの株式市場は「インフレ懸念・金利上昇」による緩和マネーの縮小懸念が下落要因となっていました。足下では一歩進んで景気後退を織り込み始めている、と考えています。株式市場にとって最悪の事態である景気後退を織り込み始めているという意味では、「**陰の極**」と呼ばれる**フェーズに入りつつある**といえるでしょう。

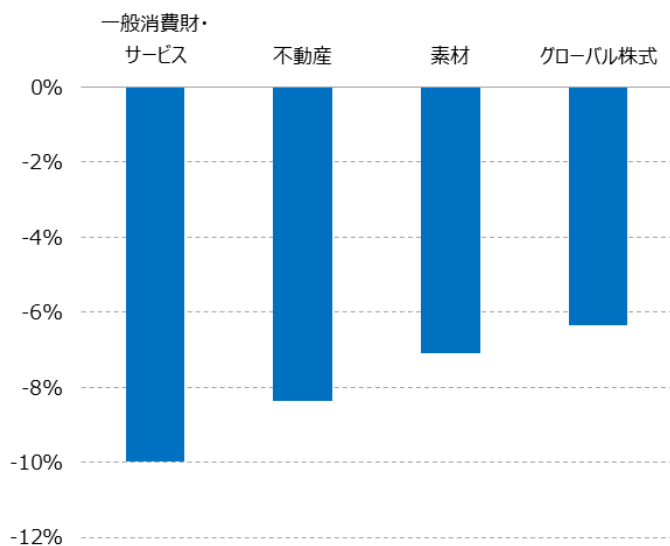
＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

投資チームでは、**世界経済が景気後退に陥る可能性は依然として低い**と考えています。金融引き締めは、名目金利からインフレ率を差し引いた「実質金利」が上昇することで景気に影響するといわれています。足下では金利が上昇しつつもインフレ率が高いため、**実質金利は依然として低位にとどまっており、景気への下押し効果は弱い**と見ています。また、**企業や家計が保有する余剰現金も多く、景気の底割れは回避される**と考えています。

〔図表2.直近の各セクターの騰落率〕

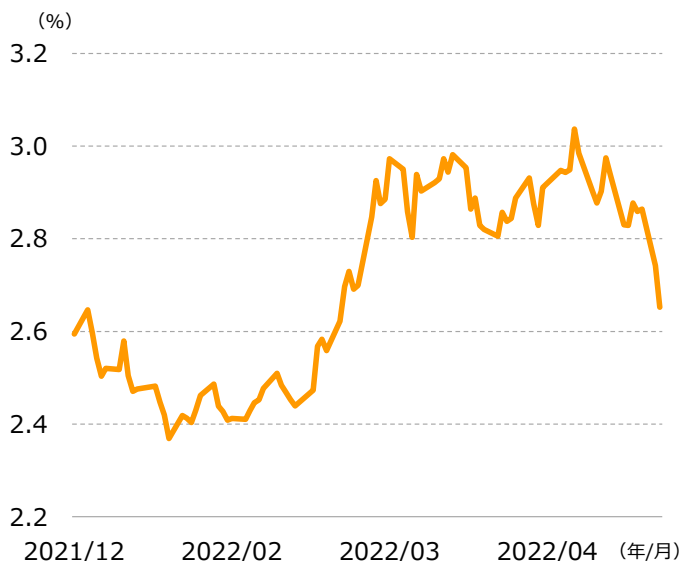
(期間：2022/5/4～2022/5/10)



※グローバル株式はMSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックス（ドルベース）、各セクターは当該指数のセクター。

〔図表3.米国の10年期待インフレ率の推移〕

(期間：2021/12/31～2022/5/10、日次)



(出所) Bloombergデータより岡三アセットマネジメント作成

足元の運用状況と今後の運用方針

4月以降、足元までの株式市場では無差別的な売りも散見され、一部の銘柄についてはバリュエーション面で割安感が強まっていると考えます。

投資チームでは、**今後普及の拡大が期待できるメタバースに関連した企業の成長余地は大きい**と考えており、4月以降の下落により**割安感が強まった銘柄は積極的に積み増しています**。

具体的には、ドイツの半導体製造装置メーカー、**アイクストロン**（情報技術）の追加投資を実施しました。同社は仮想現実（VR）や拡張現実（AR）の要素技術であるレーザーモジュール向けの製造装置を提供しており、中長期的な業績拡大余地が大きいと判断しました。また、ヘッドマウントディスプレイなどの電子デバイスの製造受託サービスを手掛ける中国の**ゴーアーテック**（情報技術）について、割安感が強まったと判断し、新規組入れを実施しました。

引き続き、**メタバースの普及に伴い業績成長が期待できる企業を選定し、バリュエーションにも注意を払った運用**を実施して参ります。

<作成：運用本部>

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

グローバル仮想世界株式戦略ファンド(愛称 フューチャーメタバース)に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長(金商)第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、国内外の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
- ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」があります。その他の変動要因としては「カントリーリスク」があります。

※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
- 投資信託は預金商品、金融債、保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。投資信託の設定・運用は投資信託委託会社が行います。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要がある場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金申込の受付が中止となる可能性、換金代金の支払が遅延する可能性があります。
- 投資対象とする投資信託証券にかかる購入・換金申込みの受付の中止および取消、取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受けた購入・換金申込みの受付を取消することがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時
購入時手数料：購入金額(購入価額×購入口数)×上限3.3% (税抜3.0%)
詳しくは販売会社にご確認ください。

- 換金時
換金手数料：ありません。
信託財産留保額：ありません。

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中
運用管理費用(信託報酬)
：純資産総額×年率1.298%(税抜1.18%)
運用管理費用(信託報酬)の実質的な負担
：純資産総額×年率1.948%程度
実質的な負担とは、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬を含めた報酬です。なお、実質的な運用管理費用(信託報酬)は目安であり、投資信託証券の実際の組入比率により変動します。
- その他費用・手数料
監査費用：純資産総額×年率0.0132% (税抜0.012%)
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用を信託財産でご負担いただきます。また、投資対象とする投資信託証券に係る前記の費用等、海外における資産の保管等に要する費用を間接的にご負担いただきます。(監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。)
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご参照ください。

グローバル仮想世界株式戦略ファンド(愛称 フューチャーメタバース)

販売会社一覧

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。
なお、販売会社には取次証券会社が含まれる場合があります。

(2022年5月12日現在)

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○	○	○
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
寿証券株式会社	東海財務局長(金商)第7号	○			
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
株式会社証券ジャパン	関東財務局長(金商)第170号	○			
JIA証券株式会社	関東財務局長(金商)第2444号	○			
野畑証券株式会社	東海財務局長(金商)第18号	○			○

※岡三証券株式会社は、一般社団法人日本暗号資産取引業協会にも加入しております。

＜本資料に関するお問合わせ先＞

フリーダイヤル **0120-048-214** (9:00～17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)